



飯坂ロータリークラブ 週報

創立	昭和33年(1958)5月5日
ガバナー	志賀利彦
ガバナー補佐	安斎忠作
会長	村上裕司
幹事	生田目正志

6月は親睦活動月間

専任しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 - 2022 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 シェカール・メータ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
カルカッタマナガールRC (インド)

職業奉仕委員会 presents
職場訪問 in



株式会社サン・ベンディング福島

令和4年6月16日木曜日



※ HPより掲載

【千葉県政行 会員 株式会社サン・ベンディング福島 代表取締役 社長】

今日はありがとうございます。コロナ禍の中で、鈴木委員長もだいぶ苦慮されて、本日はうちの会社になったと思います。取締役の佐藤の方からご紹介をさせていただいて、リサイクルセンターと整備工場をご見学いただき、この後は例会もご参りますので、終了は11時半頃を目安に進めさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

【株式会社サン・ベンディング福島 取締役佐藤 富様】

皆さん、こんにちは。サン・ベンディング福島の佐藤と申します。日頃から皆さんに大変お世話になっており、ありがとうございます。本日は短い時間ではありますが、よろしくお願

いしたいと思います。それでは、簡単に会社の概要、我々がどういった仕事をしているのかということをお説明させていただきますので、よろしくお願いたします。では最初に、こちらに我々の会社案内があるのですが、ご覧いただければと思います。それでは、ご説明させていただきます。まず、私たちの合言葉『活力邁進』ということ、活力を持って前に突き進んで行こうということが、全社のスローガンになっております。経営理念として「1. 私たちに関わる人々に対して共存共栄をお約束します」「1. お客様のためになる、そして必要とされることを目指します」「1. 取引先に信頼される誠実な企業を目指します」「1. 私たちが努力しがいのある企業を目指します」ということで、この4つが私たちの経営理念となっております。続きまして、会社概要になりますが、皆さんご存じだと思いますので、簡単にご説明いたします。こちらが福島の本社となっております。その中には、福島営業所とサービスセンター、南東北テクニカルセンターというのが入っております。その他に、山形県の米沢営業所があります。もう一つが会津営業所、その3拠点で我々が活動させていただいております。実はサン・ベンディンググループというのが、北海道から東北6県、新潟を含めて、これだけのグループの拠点があります。これに仙台北部があり、そこに9拠点、あとプラス、各グループの15拠点がございます。福島県で言うと、サン・ベンディング相双さん、サン・ベンディングいわきさん、サン・ベンディング白河さんがグループとして同じ活動を行っております。

ここでちょっと業界の話をしていただくのですが、実は自動販売機というのが年々減っております。東北エリアの自動販売機の台数ですが、以前は195,000台ほどありました。2020年の数字になりますが、それから47,000台減りまして、158,000台まで東北エリアの自動販売機は減っております。その中で、サン・ベンディンググループでは、10年前に22,000台だったものが、約9,000台増えまして、今現在32,000台ちょっとの自動販売機を所有しております。我々グループとして、自動販売機の台数を増やさせていただいております。なぜ増えているかということ、またちょっと後ほど説明させていただきます。あと、清涼飲料水がどこで1番売れているのかということですが、実は残念ながら、自動販売機やコンビニエンス



< 職場訪問参加者 16名 >

アではありません。1番売れているのは、スーパーマーケットなどの量販店なのです。あとはドラッグストアなども多いのです。そこが半分以上のシェアを持っています。その中で自動販売機のシェアは約2割です。コンビニより自動販売機の方が売っている数は、多少ではありますが多いです。

ここからは、我々の取り扱いの商品の説明になります。上が私どものオリジナルの自動販売機ということで、独自に展開しております。ダイドードリンコさん、サントリーフーズさん、アサヒ・カルピスさん、こういったメーカー専用機を取り扱いさせていただいております。ダイドーさんだけだと、ダイドーのコーヒーを中心に、いろんな商品をダイドーさんの物だけを販売する。あとはサントリーさんの自動販売機であれば、「伊右衛門」「BOS S」を中心にサントリーさんの商品だけを販売します。アサヒ・カルピスさんでしたら「WANDA」「カルピス」「三ツ矢サイダー」を中心にそういった物を、アサヒさんだけの商材を販売させていただいております。我々の独自の販売機、先ほどのオリジナルの販売機と申し上げましたが、我々が独自に自動販売機の中の商材を決められるのです。ですから、サントリー、ダイドー、キリン、大塚、アサヒ、ポッカ、UCC、サンガリア、いろんなものの売れ筋商品を、この中にぎゅっと詰めることが可能です。ご覧になったことがあると思うのですが、こういった自動販売機のコーナーを作っています。「ウィズドリンクショップ」ということで、豊富な商品のラインナップをお求めやすい自販機ということで、売れ筋商品を非常に安い価格で販売させていただいているコーナーを作っております。福島営業所の管轄で約350カ所あります。米沢と会津に各150カ所で、現在650カ所くらい、こういった売り場を設置させていただいております。なぜ販売機が増えているのかというのは、この独自の自動販売機を展開しているからなのです。メーカーさんの自動販売機は減っておりますが、我々はこういった独自の自動販売機を展開しているので、自動販売機の数も、売り上げも伸ばしております。ここにあります福島営業所、米沢営業所、会津営業所は、自動販売機のオペレーションサービスを担当しております。トラックで配送を行って、福島で23台ほど稼働しております。自動販売機の管理は、以前は1ケースずつ販売していたのですが、今現在は我々の紙を持って、設置様先の自動販売機を全てトータル的に管理しております。商品の入れ替えからお金の回収、季節に合った商品の品揃えまで、我々が直接管理するサービスを行っております。それが先ほど申し上げた23台ほど福島管内を走り回っております。あとは福島本社の中に、サービスセンターと南東北テクニカルセンターがあります。自動販売機の設置、オーバーホールとメンテナンスを行っている部署がございます。もう一つ、南東北テクニカルセンターについては、ダイドードリンコさんの自動販売機の東北三県、宮城・山形・福島の事務管理をしている所で、ダイドーさんから依頼を受け、業者に自動販売機の設置だったり、オーバーホールやメンテナンスの依頼をしたり、自動販売機の管理をしている部門になっております。もう一つ、これは昨年末に取り上げていただいた記事になりますが、リサイクルセンターです。リサイクル業務に非常に力を入れております。皆さんのお手元にありますSDGsの宣言書があると思いますが、リサイクルセンターでは、空き缶やペットボトルのリサイクルを進めております。分別作業をこういった形で、障がい者の方を雇用させていただきながらお願いをして、それを業者さんの方から、リサイクル品として再生を行うという、そういった業務に携わっております。これは福島市の障がい者雇用推進認証企業に我々の企業は登録させていただきました。これは後ほど実際に作業しているところをご覧になっていただければと思います。

最後に、この活動は2年間ぐらい実施しておりますが、「福島市をきれいにし隊」というところに登録しております。毎月こういった形で福島の営業所、サービスセンター、テクニカルセンターを含めて、全員で近隣の清掃を行っております。なかなかコロナ禍の影響で、2年間できておりませんが、そろそろやっていきたいと思っております。非常に簡単ではありますが、我々の活動内容をかいつまんでご説明させていただきました。





SDGs宣言書

2022年6月29日

株式会社サン・ベンディング福島

当社は福島県内にある1000名超の障がい者雇用を目的とした企業として、障がい者の社会参画と自立した生活の向上を推進します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組	SDGsゴール
人権・労働	ダイバーシティ経営	障がい者の雇用拡大を推進すべく、多様な人材の確保・育成・育英活動に積極的に取り組んでまいります。 【社会的包摂性】 ●「障がい者雇用促進法」に基づき、多様な障がい者から、インターンシップの受入れ、特別雇用の受入れの機会を積極的に活用しております。 ●より多様な人材の活躍に貢献するために、就業環境の改善や研修を実施してまいります。	5. ジェンダー平等 8. 働きがいと経済成長 10. 人や国の不平等をなくす
環境	廃棄物の削減 サーキュラー・エコノミー	【社会的包摂性】 ●廃棄物の削減を推進すべく、3R（リユース、リデュース、リサイクル）の推進に取り組んでまいります。 ●自社工場の廃棄物削減を推進し、廃棄物の削減や資源の有効活用に取り組んでまいります。 ●自社工場の廃棄物削減を推進し、廃棄物の削減や資源の有効活用に取り組んでまいります。	12. 持続可能な消費と生産
品質・安全	品質・安全性の確保	【社会的包摂性】 ●自社工場の品質管理を徹底し、顧客への安心・安全を確保してまいります。 ●品質・安全の確保に取り組んでまいります。 ●品質・安全の確保に取り組んでまいります。	9. 産業・イノベーションの振興
製品・サービス	地域貢献活動	【社会的包摂性】 ●自社工場の地域貢献活動を推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。 ●SDGsへの取り組みの推進を目的として、地域社会の発展に貢献してまいります。	11. 持続可能な都市とコミュニティ
社会貢献	地域活性化	【社会的包摂性】 ●自社工場の地域活性化を推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。 ●地域活性化に取り組んでまいります。 ●地域活性化に取り組んでまいります。	11. 持続可能な都市とコミュニティ

SDGsの目標

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の達成に向けて、2015年9月、国連が「持続可能な開発目標」の2030アジェンダとして採択した。2030年までに、17の目標と169のターゲットを達成することを目指す。本宣言書は、本宣言書に基づき、SDGsの達成に向けた取り組みを推進してまいります。

第28回 [3070] 例会報告 令和4年(2022) 6月16日(木)

出席委員会報告

会員総数	42名
出席会員	27名
欠席会員	15名
出席率	64.29%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」



1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

クラブ協議会 クラブ奉仕

◆開会点鐘 齋藤孝裕 副会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 白岩裕和 ソングリーダー

◆四つのテスト 齋藤健太 職業奉仕委員

◆お客様紹介  飯坂小学校特別太鼓クラブ 飯坂小学校 教頭 齋藤貴恵 先生
 飯坂小学校特別太鼓クラブ 飯坂小学校 生徒 片平 蓮 さん



ロータリーソング 四つのテスト

【6月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
6月20日 佐藤裕子様(真也会員)

..... lunch time

◆副会長の時間 齋藤孝裕 副会長

本日の職場訪問の際には、サン・ベンディング福島の千葉社長をはじめ、社員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。重ねて、鈴木委員長と委員の皆様には、段取りなど、大変お疲れさまでした。鈴木委員長、キュウリの味噌漬け、ごちそうさまでした。昨日、病院で村上会長とバッタリお会いしたのですが、その後の診察で即入院になったようです。一日も早い復帰をお祈り申し上げると共に、最後の夜間例会には元気なお姿でおいいただき、有終の美を飾られることを期待いたします。以上、簡単ではございますが、会長代理、副会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。



◆幹事報告 生田目正志 幹事

A. 来 信

①ガバナーエレクト 佐藤正道 氏より
「2022-23 年度研修委員会セミナーの案内」
と き 7月18日(祭・月) 13時~16時
と ころ 郡山ユラックス熱海

②国際ロータリー第2530地区職業・社会・国際奉仕委員会より
「中学生のインターシップ事業 冊子」
③いわき小名浜ロータリークラブより
「2021-22 年度地区研修・協議会記録」

B. メーキャップ報告

6/11 県北第二分区分会新旧合同会長幹事会

村上裕司、生田目正志、石川邦俊、紺野容樹、安斎忠作、佐藤真也、菅野浩司 各会員



特別太鼓クラブへ寄付

飯坂小学校特別太鼓クラブ出席者お礼の言葉 片平 蓮 さん (齋藤貴恵 教頭先生 引率)

今日はロータリークラブの例会にお招きをいただきありがとうございました。太鼓クラブにも毎年援助していただき感謝しております。私たちは練習に励み頑張っていきます。今日は本当にありがとうございました。

寄付金額 50,000円 (第12回目 累計600,000円)

◆職場訪問の報告 鈴木牧子 職業奉仕委員長

職業奉仕委員会で計画しておりました「職場訪問」を本日の午前中に千葉会員が社長を務める「サン・ベンディング福島」さんへ訪問させていただきました。20名近い会員の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございました。最初、座学で会社概要をご説明いただき、その後は場所を移動し、ペットボトルや缶の飲み物処理分別作業の様を見学させていただきました。SDGsにも取り組まれている様子を学ぶことができました。障がい者雇用にも取り組まれているので、同様の取り組みをされている「おにぎり」さんのお弁当を従業員さんにご提供させていただき、その際に私の漬物もお届けできました。



◆スマイリングBOX 堀切孝敏 小副委員長 【合計24s】

- 鈴木 牧子会員 5s 千葉さんの会社サン・ベンディング福島訪問、大変お世話になりました。
- 齋藤 孝裕会員 3s 千葉社長、職場訪問ありがとうございました。
- 佐藤 真也会員 3s 職場訪問にて、サン・ベンディング福島様、お世話になりありがとうございました。
- 石川 邦俊会員 3s 職場訪問欠席おわび
- 千葉 政行会員 3s ・職場訪問お世話になりました。 ・前回欠席おわび
- 西條 博之会員 3s 職場見学欠席おわび
- 佐藤喜市郎会員 2s 前回欠席お詫び
- 伊堂 里佳会員 2s 職場訪問欠席おわびとして



スマイリング報告

※ 本日の例会はレコーダーの録音に不備があり一部省略がございます。

クラブ協議会

◎**S・A・A 服部裕一** **正S・A・A** 昨年に引き続き、コロナ禍の中、感染対策を取りながら、楽しい例会ができるよう心配りをいたしました。S・A・Aの委員の皆さん、また、親睦委員会委員長をはじめ委員の皆さんの協力で会場設営、例会準備など、スムーズに行われました。そして、親睦委員会の皆様のご協力で、地区大会を兼ねた小旅行や北海道旅行、本日は職業奉仕委員会主催の職場訪問も、感染対策と取りながら行われました。最後に、今年一年S・A・Aとしての仕事は、コロナ禍の中であまりできませんでしたが、皆様のおかげ様でなんとか終える事ができました。ありがとうございました。

◎**クラブ奉仕第一委員会 石川邦俊** **委員長**

◎**職業分類・会員増強・選考小委員会 千葉政行** **小副委員長** 会員増強の目標10%、4名増とし、目標達成に邁進しましたが、会員数を維持するのが精一杯でした。年度末で3名の方が退会予定となってしまう、1名の方が名義変更で、結果、次年度は3名減のスタートとなります。引き続き、会員増強をみんなで進めていきたいと思っております。

◎**ロータリー情報小委員会 千葉政行** **小委員長** ロータリーに関する知識と理解をより一層深めることを目標としてきましたが、コロナ禍の中で例会数も激減し、情報提供をすることもできない一年になってしまいました。次年度はR I ニュースやガバナー月信、ロータリーの友から読みどころやポイントを紹介する時間をとってもらい、会員に知らしめてもらいたい。ロータリーの友を読むことはロータリアンの義務です。

◎**クラブ奉仕第二委員会 斎藤孝裕** **委員長**

◎**親睦活動小委員会 吾妻一夫** **小委員長** 今年度の親睦活動小委員会の事業内容をご報告いたします。令和3年10月31日親睦ゴルフコンペ・夜間例会、11月6日から7日親睦小旅行を兼ねた地区大会、12月16日家族同伴忘年会、令和4年1月6日新春初釜、5月20日から22日北海道周遊家族同伴親睦旅行、6月30日最終夜間例会を実施いたしました。会員の皆様、委員の皆様のご協力により、コロナ禍の中、感染対策を講じて実行できましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

◎**プログラム・出席小委員会 紺野容樹** **小委員長** 今年度の例会は、新型コロナウイルスの影響で休会が多くなり、当初予定では44回開催予定でしたが、今月末の最終夜間例会まで含めると30回の例会開催となりました。このような状況下では、なかなか外部の卓話者をお願いすることもできず、会員の皆様のご協力により、会員スピーチを中心とした活動となりました。新しい試みとして、オンライン・ハイブリット例会を開催しました。このような中でも、親睦活動委員会の尽力により、地区大会に合わせた、いわきへの小旅行、また、北海道への親睦旅行など実行できたことは大変うれしいことでした。

◎**公共イメージ・IT小委員会 渡辺哲也** **小委員長** クラブ週報を毎週発刊しました。写真掲載量の増加など、内容の充実に努め、読みやすさも追及しました。クラブ活動について、福島民報、福島民友に掲載していただきました。また、地域住民らにクラブ活動の意義を広く伝えることに加え、会員一人一人の意識高揚、成長に向けて、時代のニーズに沿う形でITの推進やSNSの活用などの取り組みを進めてきました。具体的には、クラブ公式HPを開設し、活動状況のほか、週報などの情報を毎週更新しながら運用しています。刊行物のPDF化や入会案内の掲載など工夫を施しました。また、クラブ公式SNSとしては、FacebookとTwitterを運用、週報をメインに活動状況を定期配信しています。コロナ禍を踏まえたオンライン例会の開催は、昨年9月30日に実証テストを実施し、会員17人が参加しました。課題としては、クラブ公式のHPとSNS、My Rotayについても実際の利用率や活用状況は低迷しており、継続的に会員一人一人が活用できる環境整備、意識啓発が必要と考えます。

◎**スマイリングボックス小委員会 堀切孝敏** **小副委員長** スマイリングボックス小委員会より今年度のご報告を申し上げます。今年度のスマイリングボックスの予算額は100万円でしたが、5月末現在のスマイリングボックスの合計額は1,536,000円となっております。会員の皆様のご協力、誠にありがとうございました。



◆閉会点鐘 副会長